



認知症施策の推進について



高橋 佐代子 議員
(改革未来・自民の風)
(・加西維新の会)

問 認知症患者数と今後の予測、それに対する支援の内容は。

答 日常生活自立度Ⅱランク（日常生活に支障を来すような症状等が多少見られる）以上の認知症高齢者は令和7年1月末現在で2,371人、令和22年には2,666人と推計しています。早期発見により認知症への移行を遅らせ、また、元の生活を取り戻して地域で安心・安全に生活できるように支援したいと考えます。

問 認知症の方を介護する家族向けの相談窓口について。

答 地域包括支援センターに設置しているもの忘れ相談窓口では、2月末現在で787件の相談を受けています。介護保険の手続きやサービス利用に続いて認知症関連の相談が多くなっています。

問 介護者向けの講習会や交流会など、負担軽減に向けた施策の実施状況は。

答 介護に役立つ技術や知識の習得、介護者のリフレッシュの場となることを目的とした家族介護者等支援講座を開催しています。また、認知症の方やその家族、地域住民が参加して認知症への理解を深め、交流するための絆カフェや、認知症家族の会「楽・笑・介」など交流の場づくりも行っています。

問 高橋市政では「通いの場づくり補助金」等の予算が増え感謝している。担当課の考えは。

答 地域のつながりは大変重要です。認知症予防の面、また、普段の付き合いがあるからこそ、ささいな違いを感じたり、顔を見かけないからと声かけされたり等の見守りとしても大切と考えます。市の施策として交流の場など進めていますが、地域のつながりが継続されるよう努めます。

問 「寝たきりゼロのまち」を推進し、保健師が地域で寸劇をする等の取組が評価されて全国一になったことがある。管理職の保健師も地域で活動していただきたいと思うが、いかがか。

答 先輩保健師が、担当地域への訪問や老人会で健康教育をされている姿が非常に印象深く、思い出に残っています。必要な場合には地域に出ていき、新しい若い保健師にもその姿を見せていただきたいと考えます。

令和6年度 政務活動費収支報告

議員の調査研究に役立てるために必要な経費の一部として、議員1人当たり年額10万円を会派に対し政務活動費として交付しています。なお、残額は年度末に返還します。政務活動費収支報告書・調査研究実施報告書・領収書等の資料は、市役所1階総合案内横の専用カウンターおよびホームページにおいて常時公開しています。

(単位:円)

会 派	交付額	支出済額		残 額	執行率	支 出 項 目					
		政 務 活 動 費	自 費 等			研 究 研 修 費	調 査 旅 費	資 料 作 成 費	資 料 購 入 費	広 報 費	広 聽 費
清流会・かさいを育む会 (6 人)	600,000	524,008	0	75,992	87.33%	0	524,008	0	0	0	0
改革未来・自民の風 (4 人)	400,000	0	0	400,000	0%	0	0	0	0	0	0
令和新風加西 (3 人)	300,000	300,000	2,985	0	100.0%	0	302,985	0	0	0	0
公 明 党 (1 人)	100,000	0	0	100,000	0%	0	0	0	0	0	0
加西維新の会 (1 人)	100,000	100,000	995	0	100.0%	0	100,995	0	0	0	0
合計	1,500,000	924,008	3,980	575,992	61.60%	0	927,988	0	0	0	0

※ 残額は、交付額から支出済額のうち政務活動費での支出額を差し引いた額です。また、発生した預金利子を加算した額ではないため、収支報告書に記載の残額と一致しない場合があります。なお、発生した預金利子は、残額がある場合には合わせて返還します。